

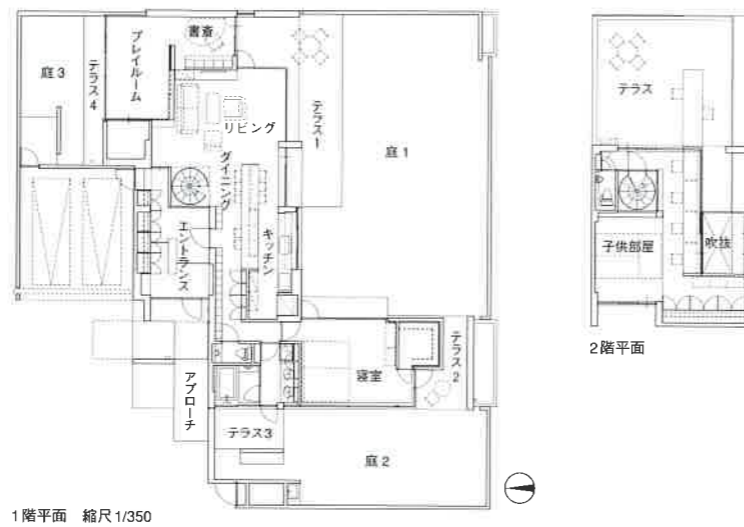
石岡の家
設計 田井勝馬建築設計工房

施工/小川建設
家具工事/CUCINA

床/磁器質タイル300×600mm(マラツィシレック)貼り(コアド)
壁・天井仕上げ/PB t=9.5+9.5mm AEP

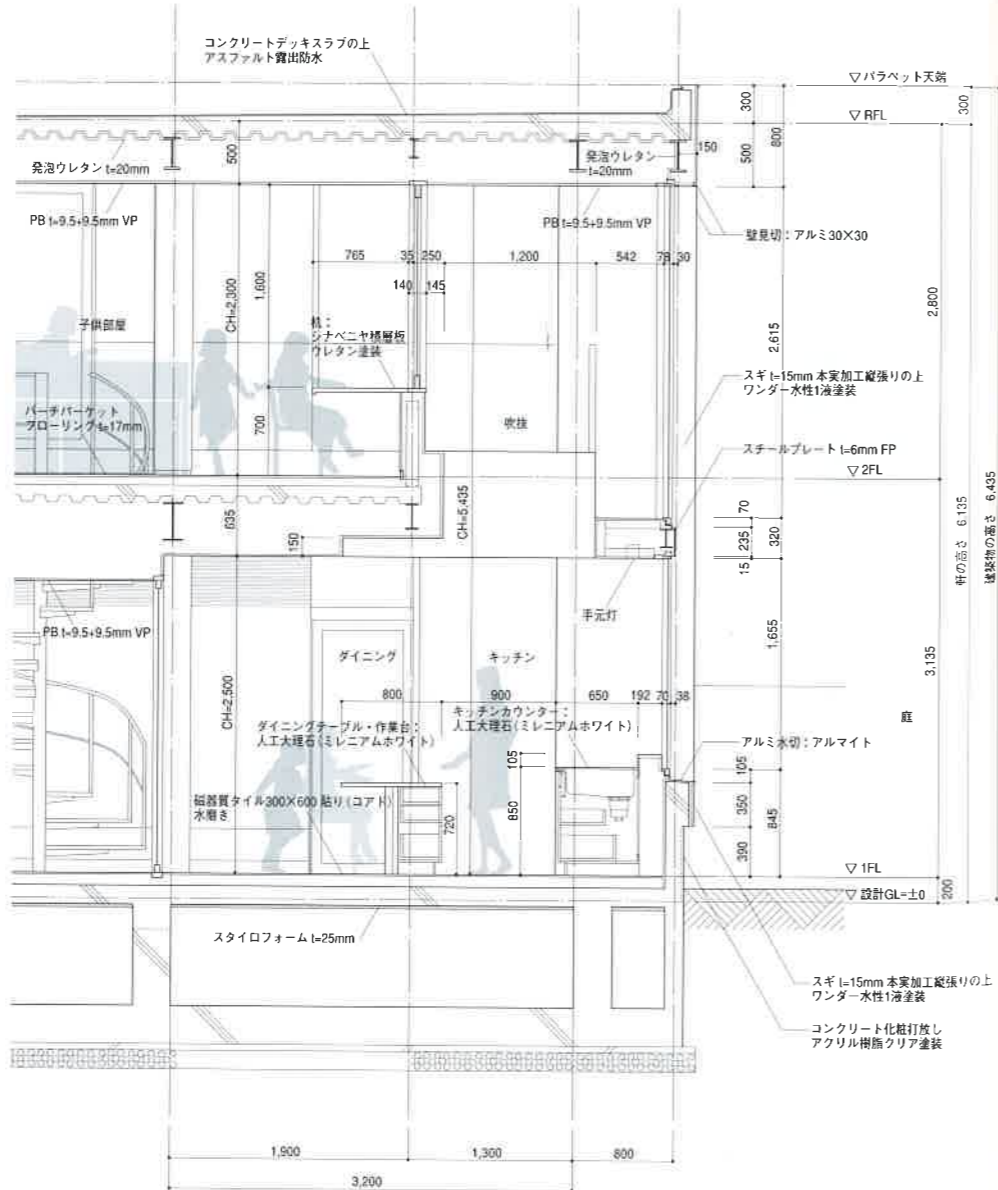
キッチンカウンター/人工大理石ミレニウムホワイト(メタクリル
樹脂強化無機材10mm+合板12mm加工)
キッチンシンク/SUS304 t=0.8mm (MU-90D)
木加工/面材:CUCINA マットペイント スノーホワイト(芯材
MDF ウレタン樹脂エナメル塗装 艶消し)
水栓金具/KM368MS
水栓金具/井戸水専用水栓
食洗機/ナショナル NP-60×1P1AAブルーオープン型
クックトップ/リンナイ RBR-N751CJ3GR-KB
レンジフード/富士工業 SSR-3S-901 メンテナンスフリータイプ
ダイニングテーブル/人工大理石ミレニウムホワイト

掲載号/本誌2003年8月号
撮影/本誌写真部 山森誠
設計者連絡先/神奈川県横浜市中区相生町1-15 第2東商ビル5F
tel. 045-227-7867 fax. 045-227-7868
e-mail kt-archi@nifty.com
URL http://www.tai-archi.co.jp



1階平面 縮尺1/350

2階平面



断面詳細 縮尺1/60

この住宅の特徴は、キッチンのポジションそのものにある。

クライアントは、夫婦と、上から8・6・4・0歳の4人姉妹。家族とのかかわりの大切さを絶えず望んでおられた母親に、建物の中心に住まいの核となるスペース(キッチン)をセットした。どの場所からも母親の姿がうかがえ、また母親も同様に家族の様子が一目でわかるオープン・キッチンである。キッチンは2列配置の構成としている。南面窓側にはシンク・ガス台・食洗機・冷蔵庫等の調理スペースが設けられ、前面に広がる庭からの採光や、樹木の変化をたえず感じられる明るいスペースである。また反対側には、長さ5mのダイニングテーブルを兼ねた作業テーブルがある。このスペースは子供たちに食事の支度を手伝ってもらったり、勉強を見てあげたり、仕事をしたり、互いに何をしているか常に見えるから、いつも誰かがこの場にいる。2階には、外部デッキと一体化した勉強机が並ぶ子供部屋がある。この部屋とキッチンとは吹抜け空間でつながっていて、子供たちの声や母親の様子など、お互いの気配を感じられる立体空間になっている。

この、どこからも視線の集中するキッチンは、食べる時間から食事の用意をしたり、片づけたることまでも、家族みんながこの空間と時間を共有し、もう少しゆっくり時間をかけたくなるような、そんなスローフードなものと考え方、つくり方に立ち戻れる空間である。

(田井勝馬)



2階の子供部屋からキッチンを見下ろす。勉強机に着く子供たちは、キッチンにいる母親の姿が直接見えなくても、吹抜けを介してお互いの気配を感じられる



キッチンからダイニング、リビングを見通す。ダイニングテーブルの長さは5m



ダイニングからキッチンを見る